

令和4年3月11日

令和3年度 卒業式の方針について

新型コロナウイルス感染症対策検討会議

原則、学校の実情に応じて実施する。

小学校：入退場及び証書授与時はマスク不要、合唱はマスク着用の下で行うことが望ましい。

中学校：入退場、証書授与、合唱ともマスク不要。

※小学校、中学校ともに、マスクを外して合唱を行う場合は、直近7日間で卒業生の新規感染者が5名以上発生していないこと。

検討会議では、児童・生徒の門出としての式典の意義も重要と考え「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための富山市立学校 卒業式・入学式 開催指針（令和3年12月28日改訂）」を作成しています。ここで規定した合唱時にとる距離などは、下記のデータを参照しています。

日本語曲歌唱時（子どもから成人までの合唱団員20人のデータ）

①飛沫(>5μm)飛散距離：前方に、男性で平均46.5cm、最大61cm、
女性で平均27.3cm、最大57cm。
横方向には、口元では確認されず。

※いずれの条件でもドイツ語曲より飛沫飛散は少ない。

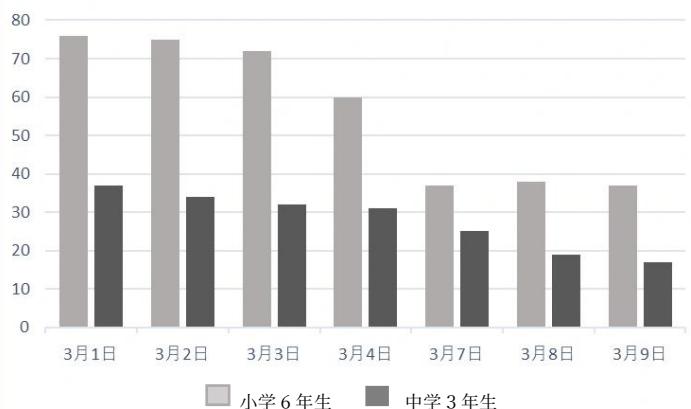
②微細粒子(<0.5μm)の浮遊：前方1mでも少数ながら観測された。

③マスク着用下の歌唱：飛沫は顕著に減少した。（不織布、布、ポリエステルいずれも）

（全日本合唱連盟「合唱活動における飛沫実証実験報告書（令和2年12月8日）」より）

下記に、直近1週間における市内の小学6年生と中学3年生の新型コロナウイルス感染症による欠席者数の推移を示します。これらは隔離期間児童生徒も含まれており、新規感染者数自体はさらに抑えられています。特に中学校ではその傾向が見て取れます。

新型コロナウイルス感染症の欠席者数



それぞれの学校での直近の感染状況をご確認いただき、1週間以内に5名以上の感染者がない場合はマスクなしの合唱を実施してもよいと判断しました。

これは当然のことながら感染リスクがゼロという意味ではなく、巣立つ卒業生たちが最後に声を合わせて歌うことの意義と、科学的なデータを考え合わせた結果、検討会議として許容できると判断したものです。